

観光地における個包装デザイン

ー女性向けの饅頭パッケージの提案ー

A2201406 大堀舞美

研究の背景

全国の観光地には必ず土産物が売られている。その中でも目にすることの多いのが饅頭である。饅頭のパッケージは、外側の箱は紙ラベルを巻いただけのもの、内側の個包装は透明のビニールのものでいった簡素な包装が多い。また、土産物の饅頭は 10～15 個入りがほとんどで、少数で売られているものはあまり見ない。個数が多いものは、家族の多い人や職場の土産物として持って行くのには適している。しかし、少数の人に贈る時や自分用に少しだけ食べたいと感じている方に 10 個以上は多く、日数が経ち腐らせてしまうケースが多々ある。また、近年では若い人だけでなく年配の方も単身世帯が多い。そのような人にとって土産物の饅頭は数個で足りてしまう。そこで今回は、観光地(温泉街)に適した個包装に特化したパッケージデザインを提案する。

研究の目的

調査・研究結果をもとに、個包装デザインの制作を行う。各種アンケート調査(JTB など)により、男性よりも女性の方が土産物の購買意欲が高いという結果があるため、女性を中心に幅広い年齢層をターゲットとする。また、購入する楽しさと土産物として貰う嬉しさの両方を感じられるよう、各温泉街の特産品をモチーフとして取り入れたデザインを 3 種類ずつ制作する。

研究のプロセス

4 月～9 月 テーマ決定とサンプル作成

→観光地に置かれている饅頭のパッケージ調査を行い、テーマを決定した。テーマに伴い、デザインの質を上げるため、仮サンプルを制作した。

10 月 地域ごとの特産品調べ

→女子旅に人気の温泉ランキング(楽天トラベル)を元に 10 箇所の温泉地で有名な特産品を調べた。中間の際に花巻と花巻南を取り上げたが、両方の特産品が被っていたため花巻温泉のみとし、新たに別府温泉を加えた 10 箇所のデザインを制作することを確定させた。

11 月 アンケート調査

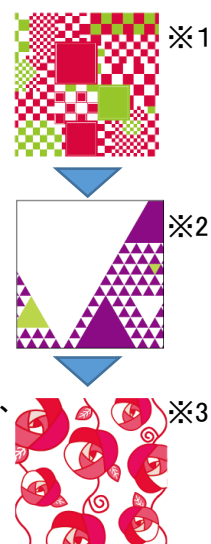
→年齢・性別・中身が見えない包装について・パッケージデザインの柄と色についての 6 つの問いに学内外約 100 名にアンケートをして貰い、後期で制作したデザインへ反映させた。

12 月 デザインの制作

→10 箇所×3 種類(計 30 種)のデザインを制作した。アンケート結果により、ビビット色を使用した幾何学模様のデザイン(※1, 2)から洋柄に近くやわらかいデザイン(※3)に変更した。その温泉街と分かるような特産品を選び、まずデザインのサンプルを制作した。

1 月 デザイン制作のまとめと実物制作

→11 月・12 月で制作したデザインサンプルの細かい部分を修正しつつ、原寸サイズでのデザインを制作しまとめた。その後、強度等を確認するため実際にサンプルを作成し、最終的に箱型のパッケージを制作。



制作物

各温泉地ごとに3種類ずつの計30個のデザインを制作した。

正面(デザインのみ)

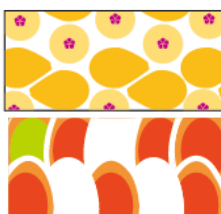
道後温泉(愛媛県)

坊ちゃん団子・道後ビール・蜜柑



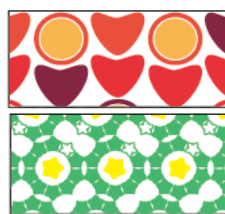
上諏訪温泉(長野県)

カリン・鮎寿司・寒天



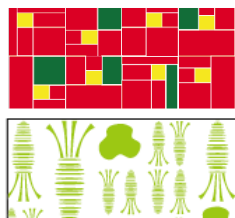
湯の川温泉(北海道)

いか飯・五稜郭・昆布



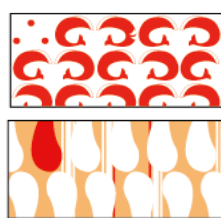
伊東温泉(静岡県)

檜・山葵・大室山



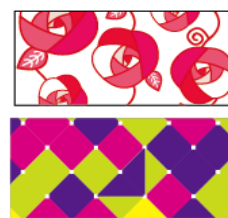
皆生温泉(鳥取県)

海老・らっきょう・砂丘



花巻温泉(岩手県)

薔薇・葡萄・水芭蕉



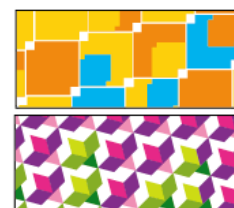
箱根温泉(神奈川県)

紫陽花・黒温泉卵・寄木細工



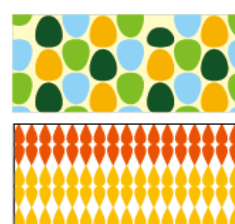
あわら温泉(福井県)

瓦せんべい・花菖蒲・菊酒



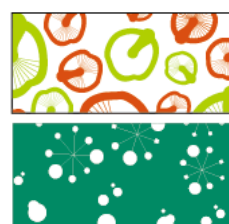
小豆島温泉(香川県)

オリーブ・ごま油・醤油



別府温泉(大分県)

椎茸・湯の花・河豚



_____…上段
_____…下段

考察

温泉街での女性向け個包装デザインということで、各温泉街の特産品をモチーフにしつつ、女性に好まれるデザインを心がけて制作を行った。購入する際の選ぶ楽しみや土産物として貰った時の嬉しさを感じられるデザインにするため、モチーフの形や色を決めるのに苦労したが、温泉街の特産品や好まれるデザインをアンケート等で調査してまとめる事ができたと思う。また、調査によって年齢や性別で色や柄の好みが変わることを発見でき、その見方の違いを意識してデザインを制作する事ができた。制作物として実際に形になったときの雰囲気や周囲の人の意見をもっと調査できれば良かったと感じた。この経験を今後の制作にも活かしていきたい。